



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「ジェニファア」②  
 イエス様は私に最善をして下さり、たとえこの癌が死に至っても、神は全てを良きに変えて下さることを知っていました。家族も、また小さな子供たちの事も。ピリピ一章21節にはこうあります。「私にとって生きるのもキリスト、死ぬこともまた益です」。このみ言葉が証しになることを願っていました。友人や家族は私のことを心配してくれました。でも皆が心配すると私はかえって不信仰に陥ったりしました。私は主から頂いている平安を誰にも奪われたくありませんでしたし、その平安が無いのなら、信仰に立つ事もできませんでした。  
 やがて抗癌剤治療が始まりました。それは抗癌剤の中でも大変強いものでした。人生で初めて食事を見るのも嫌になり、気持ちが悪くて、何も食えることができませんでした。抗癌剤が始まって二週間後、髪の毛が抜け始めたため、私は頭髪を全部剃り落とし、スカーフを被ることにしました。この時思いました：癌が病気になるのではなく、抗癌剤そのものが私を病気にしていると。  
 その時、私は出エジプト記三三章21節からの御言葉が与えられました。そこにはこうあります。「あなたは岩の上を立て、わたしの栄光が通り過ぎる時には、わたしはあなたを岩の裂け目に入れ、わたしが通り過ぎるまで、この手であなただけをおおっておこう。わたしが手をのけたら、あなたはわたしのうしろを見るであろうが、わたしの顔は決して見られない」。この御言葉を読んだ時、「ああ、私もモーゼと同じ状況にいるんだ。神様の全能の御手が私を荒々しい岩の裂け目に押し込もうとしている。モーゼは痛み、暗闇、恐怖、そして不安の中に押し込まれていると感じたに違いない。でも神の御手は彼をおおい、守り続けていた。私も同じなんだ。そして私も神の栄光を見られるんだ」と感じたのでした。十六回、五ヶ月間の抗癌剤治療が終わり、その結果、腫瘍は無くなっていました。でもまだまだ長い道のりが続きました。その後、左胸の乳癌全摘出手術、放射線治療、そして今回の再度の手術で、この手術は最後の手術となります。これは予防的手術で、癌になる前に癌の元を摘出するための手術です。去年の八月に予防的な子宮と卵巣摘出手術をしました。自分の体は手術で傷だらけになり、体全体が醜く変わってしまいました。体の外側が変わった以上に内側も変わっていたのではないかと思っています。ある人は癌になって、「神様、私は一生懸命あなたのために尽くしています。なのになぜ癌になってしまったのでしょうか」と嘆いた話を、聞いたことがあります(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

